

東京 京都館ニュース

葉月

Traditional  
Craft Gallery  
Antenna Shop  
Information  
of KYOTO

T O K Y O  
K Y O T O K A N  
N E W S

2009  
8  
August

# 涼を求めて、 京都・貴船へ



貴船神社



●京都つたえびと  
貴船神社 宮司  
高井和大氏

命の源、水神を祀り悠久の歴史を貴船に刻む

縁結びの神社として名高い貴船神社。清流のせせらぎに満ち雄大な自然を残す貴船の地で育まれた歴史と、その原点を宮司が語る。

命の源、水神を祀り  
悠久の歴史を貴船に刻む



## 京都つたえびと

貴船神社  
宮司 高井 和夫氏

### 命の源である 水の神を祀る古社

貴船神社の創建年代は明らかになっていませんが、平安時代以前であることは間違いなく、また、伝説では、創建は1600年前だといわれている古社中の古社です。その伝説では第18代反正天皇の御代に難波の津(大阪湾)に黄色い船に乗った玉依姫が現れ、「船の留まる所に神様をお祀りすれば国土を潤し、庶民に福運を与えん」と告げられ、淀川、鴨川をさかのぼって水の湧き出る場所に社殿を建てたのが始まりと伝えられています。奥宮拝殿前の船形石は、玉依姫の乗って来られた船を覆い隠したものとされます。ご祭神の高麗神は閻魔神とも呼ばれる雨を司る水神です。水はあらゆる命の源。そのため人々は水の恵みをもたらす川上に不思議な力があると信じ、長雨が続いたときには白い毛の馬を、日照りが続いたときは黒い馬を奉って雨やみや雨乞いを祈願しました。「その数、数百に及ぶ」といわれ次第に馬の絵を描いた板を奉納するようになりました。これが現在の絵馬とのかかわりが深い神社です。



### 和泉式部も詣でた 深山幽谷の世界

夫の浮気を思い悩んだ和泉式部が当社に詣でたところ、夫婦仲が円満に戻ったという逸話があります。このことから恋を司る神としても信仰を集め、室町時代には既に縁結びの神様として知られていたようです。そのため、御神水に浮かべると文字が浮かび上がる「水占みくじ」や願い事を書いて神前に結ぶ「結び文」は参拝客に大変人気があります。貴船の名の由来には玉依姫が乗っていた「黄船」や氣力が生じる根源の「気生根」などいくつかの説があります。京都の中心部から車でわずか30分ほどで深山幽谷の世界が広がります。夏はカジャが美しい声で鳴きます。周りは木々に囲まれて川のせせらぎを耳にするだけで心が洗われていくようです。また森の中はスギタニリシジミやムカシトンボなどの昆虫やキブネダイオウといった植物の宝庫。ストレスのたまる生活からしばしば抜け出し、千年の昔を思い浮かべながら和泉式部が訪れた奥宮まで足を伸ばしてみるのもロマンチックなのではないでしょうか。

## 京の奥座敷で 川床に遊ぶ贅沢

貴船の川床は、天保年間に貴船神社近くの茶店が夏の川に縁台を置いたのが始まりといわれており、江戸時代には既に行われていました。当時は参拝や裕福な商人が接待に訪れるちょっと敷居が高くて特別な場所というイメージがあったようです。京都の豪商は遊び上手で、料理を持ってこさせたり、舞妓さんを連れての遊びも戦前からありました。その後、昭和4年の叡山電車鞍馬線開通に伴って、多くの人が気軽に川床へ足を運ぶようになりました。



### パワースポット貴船の 新たな楽しみ

貴船の夏はむせるような新緑で始まります。真夏は緑も濃くなり、山間の風が軽やかに吹き抜けるため、天然の涼しさも魅力で、京都の中心部とは気温が5度は違います。そのため真夏でも夜は寒いくらいです。昼は川に下りていくとひんやりと涼しい風が吹き、川からのしぶきがその風に乗って顔に当たり、汗が引いていきます。そして、夏の定番の川床では、



## 川床の老舗が届ける 貴船の新たな楽しみ

そんな川床の雰囲気とともに鮎の塩焼きや鱈の落としなどが味わえます。涼を満喫する夏はもちろんですが、秋の紅葉のライトアップや冬の静けさも魅力です。オフシーズンには静寂の中で写詞する「書写観」が貴船の各店で体験できます。「穢れ」の語源は「気濁れ」であるといわれ、穢れを祓うと氣力が蘇るといいます。また、貴船は「気生根」とも書き、古来より氣力が生まれる場所、今というパワースポットです。鞍馬山は極相林の状態が長く続いているため、樹木の構成が昔とほとんど変化していません。そのため、義経が生きた時代の雰囲気も、その時代と変わりなく体験することができます。日帰りの方は露天風呂やリンパエステなどを楽しんでいただき、今までは違う新しい貴船の魅力に触れていただきたいと思います。

## 京の通り道

### 貴船道

京都の北を走るこの道は過去より、貴船神社を詣でる参拝者が歩いてきた道です。そのためこの道には、多くの伝承が残されています。また、道の横を流れる貴船川は鴨川の源流の1つで、道沿いにはその美しいせせらぎを楽しむことができる川床の名店が並びます。今回は貴船神社付近に焦点を当て、そこに残された奇岩石伝説と併せてご紹介いたします。



### 貴船周辺に点在する奇岩石

#### つつみが岩

貴船川上流を中心に産出され、紫色に光る特徴を持つ貴船石。つつみが岩はその一つで、古代火山灰堆積の模様を描き、紫に淡く輝いている。貴船神社の結社と奥宮の中間に置かれている。

#### 船形石

貴船神社奥宮にある船の形をした岩。貴船神社創建の伝説にある。玉依姫が鴨川をさかのぼってきた際に乗っていた船を人目にふれぬように小石で囲み、この岩ができたといわれている。

#### 鏡岩

貴船山の中間にある、磐座(いわくら)と呼ばれる古代の祭りの場。貴船神社の祭神が天から降臨する際に、この岩に降り立ったという伝説が残されている。現在は禁足地となっている。

#### 蜷岩

叡山電鉄、貴船口駅から上った先にある岩で付近はホテルの名所。また、和泉式部はこの辺りを、「もの思へば沢の世もわが身よりあかくれ出づる魂かとぞ見る」と歌っている。

#### 鳥帽子岩

過去、貴船神社へ向かう参拝者は、この辺りで冷水を浴び、身を清めていた。宮中に仕える大宮人がその鳥帽子を取り、身を清めていた場所でもあることが名前の由来といわれている。

#### 天の磐船

貴船山で見つけられた重さ6tの、美しく、見事な船の形をした滑らかな自然石。貴船神社結社で縁結びの神として祀られている。磐長姫命の御舟船として境内に納められている。